

調査問題から見える「授業改善のポイント」＜中学校 国語＞

1三 意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題
 [情報の扱い方] <平均正答率 県 44.4% (全国比+0.4)>

【授業改善のポイント】

調査結果の分析

- ・話し合いの発言の中の、意見にあたる部分とその理由にあたる部分を適切に捉えることができなかった生徒は55.6%である。
- ・意見と根拠の関係を捉えることや、話題や展開を捉えて話し合うことに課題がある。



発言の中における意見と理由の関係を捉える

今井さん: 私は、図書館や書店で本を選んでいますが、読みたい本を見付けるのには時間がかかりますが、本棚を眺めていると、思いがけない本の出会いがあって興味が広がると感じています。

藤田さん: 図書館や書店でいろいろな本棚を眺めながら本を選ぶと、時間はかかっても、情報が届くような状態にはならないでしょうか。

山岡さん: そういえば、インターネットでも様々な人がおすすめの本を紹介しているウェブページがありますよ。そこで紹介されている本は、本を探している側の好みによって選ばれているわけではないので、フィルターバブル現象の影響は受けにくいのではないのでしょうか。

今井さん: そのような本の選び方は、学校図書館で、おすすめの本のコーナーから本を選ぶこと似ていますね。おすすめの本には、その本をすすめる人の好みや考えが反映されているので、自分とは異なる価値観に触れることもできますね。

○話や文章の中で、意見と根拠との関係を整理する学習活動を意図的に設定する

- 活動例
- ・意見を書いたり意見文を読んだりする際に、意見にあたる部分とそれを支える根拠にあたる部分を整理する。
 - ・話し合いを動画等で振り返る中で、具体的な発言を取り上げ、どの部分が意見でどの部分が根拠なのかを確かめ合う。

○話し合いの話題や目的を意識しながら話し合うことができているかを確認する場面を、意図的に設定する

- 活動例
- ・ICTを活用して話し合いの様子を途中まで記録し、多くの発言が出されて考えに広がりが出てきた段階や出された発言の内容を踏まえて考えを述べる段階においても、話し合いの話題や目的に沿って発言することができているかを振り返って、明らかになった課題を意識しながら話し合いの続きを行う。

2一 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる問題
 [読むこと] <平均正答率 県 37.1% (全国比+0.8)>

【授業改善のポイント】

調査結果の分析

- ・文章において図が果たしている二つの役割のうち、一つしか捉えることができなかった生徒は54.8%であり、どちらの役割も捉えることができなかった生徒は8.1%である。
- ・文章における図の役割を捉えることに課題がある。



文章における図の役割を捉える

一 「図 ささまざまな形の葉」の本文中での役割を強

1 実際の葉の形をたくさん思い浮かべることがで

2 実際の葉の形とそれを表す言葉とを結び付け

3 葉の形を表す言葉と二つのグループに分けるお

4 葉の形を表す言葉の中では厚み方向の形容が

○文章と図表との関係を捉える学習活動の充実を図る

- 活動例
- ・図表を伴っている文章において、図表と文章とで関連している部分にそれぞれ印をつけて線で結び、どのような関係で結び付いているのかを書き込みながら読む。
 - ・書き手が伝えようとしている内容を、図表中の具体的な部分を指し示しながら説明する。

○図表がもたらす効果について考える学習活動の充実を図る

- 活動例
- ・概念図や模式図、地図、表、グラフなど様々な種類の図表を伴っている文章を教材として取り上げ、それぞれの図表が果たしている役割を、文章中の言葉を使って説明する。
 - ・文章に図表が伴われている場合と伴われていない場合を比較し、図表があることのよさを、具体的に説明する。